



洋書輸入協会会報

Vol. 28 No. 3 (通巻322号) 1994年3月

理事会報告

2月21日(月)

(一) 1月分収支報告

2月4日(金)付、総務委員会で審議の総務委員長報告を承認した。

(二) 選挙管理委員会の承認

1994年度総会における理事選挙の選挙管理委員について委嘱する委員名が総務委員長より報告され承認した。

(三) 委員会改編

現在の10委員会を総務、会報、広報・渉外、事業、ダイレクトリー、文化厚生 の6委員会に来期より改編したいとする総務委員会案が提示され、基本的な考え方として了承した。

(四) その他

イ. 広報・渉外委員長より、1994年度のメンバーズリストが出来、東京国際ブックフェア '94で配布したことが報告された。

ロ. 予て退会の申し出があったハイネマン・インターナショナルの退会を1月末日付で承認した。

海外ニュース

切手による童話の主人公救済キャンペーン

最近の調査によると、他国の例にもれず英国でもアニメやファミコンのキャラクター等に比べ、児童文学の主人公たちが、大多数の子供にとって縁遠い存在となりつ

つあることが明らかとなっている。

そこで、これらの主人公たちをモチーフにした記念切手を発行して「古典的な」児童文学のキャラクターを救おうというキャンペーンがスタートした。

熊のルパートやパディントン・ベア、ピーター・ラビット、それにマーマレード色の猫のオルランドは、赤頭巾や三匹の熊やアリスと共に、児童文学の不滅のキャラクターと考えられてきた。しかし、先日発行された記念切手は、これらのキャラクターが子供たちにとってはスーパーマリオやソニックに比べて、ずっと馴染みの無い存在であるが故に切手のモチーフに選ばれたという話である。

今回の調査で子供たちの間の知名度ナンバーワンは、ハリネズミのソニックで11歳から14歳の子供たちの99%が知っており、第2位のスーパーマリオが97%、ターミネーターとストリートファイターもアリスよりも上位にきている。児童文学の主人公の中では、「名前を聞いたことがある」と答えた子供が全体の91%いたアリスが第1位、熊のパディントンとルパートは89%と上位だったが、猫のオルランドに至っては残念ながらわずか13%という結果が出た。

児童文学切手の製作担当者のS.グリフィス氏は、今回の調査結果は、今の子供たちが本を読むよりもコンピュータゲームの方に熱中しているという「憂慮すべき」現実を示しており、記念切手の発行が少しでも多くの子供を読書と、さらには切手収集という趣味にも目を向けてさせてくれたら、と述べている。

—The Bookseller '94年2月4日号より抜粋—

理事会報告	1	お知らせ	2	東京の坂と橋と文明開化(43)	7
海外ニュース	1	文化厚生委員会だより	3	広 告	8
うちの会社	2	洋書輸入協会史(86)	5		

うちの会社

(株) H B J

○弊社は、アメリカの総合企業体 Harcourt General 傘下の出版グループ Harcourt Brace & Company の日本法人です。

○Harcourt Brace & Company には、以下のような出版社があります。

Academic Press, Bailliere Tindall Limited,
The Dryden Press, HB College Department,
HB School Department, HB Trae Department

Holt, Rinehart & Winston College Department,

Holt, Rinehart & Winston School Department,

The Psychological Corporation, Saunders College Publishing, W. B. Saunders Company

○弊社では、下記のような業務を行っております。

(1) 洋書、雑誌の輸入販売

W. B. Saunders Co./Bailliere Tindall—医学書 看護書 雑誌

Academic Press—最先端科学 技術書 雑誌

Academic Press Professional—コンピュータ一書

Harcourt Brace ESL/ELT—英語教育教材

Harcourt Brace・Holt, Rinehart & Winston
—小中高校大学向け教科書新刊を中心に在庫を取り揃え書店の皆様にご利用いただいております。

(2) 和書の出版

医学・看護学・コンピューター関係書

○国内学会、国際学会にもできるだけ参加させていただきご出席の皆様に見物をご覧いただくよう心がけております。

皆様のご利用を心からお願い申し上げます。

お知らせ

下記の通り代表業務停止の連絡がありましたので、お知らせします。

(株) マクミラン出版社

Edward Arnold(Publishers)Ltd.

a member of the Hodder Headline PLC group
(6月末日付)

(ドイツ) G. ウェーグナー社の輸出部門

KNO 社に合併

G. ウェーグナー社社長(ドイツ、ベルゼンフェライン会長) G. クルツェ氏は、1月、幕張で開催された東京ブックフェアのための来日に際し、同社の輸出部門が本年3月1日より、KNO社(シュツットガルト)に合併することを公表した。

KNO社輸出部の代表はHarald Gläser氏で、同じく今回のブックフェアのため来日した。同社は、前記のWegner社やKoehler & Volkmar社などとともに、ドイツ取次店の最大手のひとつであり、その輸出部門は今回、Wegner社の輸出部従事者の一部が転入することにより一段と強化されることになろう。

なお、従来ウェーグナー社の日本におけるレブ業務を担当していたエンデルレ書店のハンス・エンデルレ氏は、KNO社のそれも担当することになった。

第70回72会ゴルフコンペ

1993.10.21(木) 東筑波カントリークラブ

今日は72会にしては珍しく雨。レインウェアを
 ごそごそ探し、帽子をかぶり、傘をさしてスタ
 ートするのは何年ぶりか記憶にありません。しか
 しコースは11月に男子プロのトーナメントが予定
 されているすばらしいコース。昨年に続きメンバ
 ーの山川さん(ユサコ)に手配をお願いしまし
 た。さすがにトーナメントに使われるティーグラ
 ンドはしっかりカバーで守られ、ラフは深め。天
 気が良くても難しいのに雨でなおさら。皆さん不
 安と期待でのスタート。そしてスコアーを集計し

てみれば、さすがにコースを良く知っている山川さん
 (ユサコ社長)、今回初参加のご子息の前で優勝。メン
 バーとして、又父親として面目躍如たるコンペでした。

成 績

			GROSS	H.C.	NET
優 勝	山川 隆司(ユ サ コ)		92	12	80
2 位	後藤 明美(B & T)		89	9	80
3 位	大八木 進(ユ サ コ)		110	28	82
4 位	山川 真一(ユ サ コ)		120	36	84
5 位	小関 妙子(名著普及会)		115	27	88

ベストグロス 後藤 明美(B & T)
 ドラゴン 大野 俊(丸 善 O B)
 大八木 進(ユ サ コ)
 ニアピン 大野 俊(丸 善 O B)

(同ネットの場合年齢によって順位決定)

そしてユサコ勢の上位独占を辛うじて阻止したのは後藤
 さん(バーカーアンドテイラー)。このコースでベスト
 グロスはりっぱでした。(S. W. 記)

囲碁同好会便り

囲碁同好会は昭和42年1月発足以来既に27年になり、
 JBIA の各同好会の中で最も古く、長年にわたり同好の
 士が烏鷺を闘わせてきました。発足以来27年にもなりま
 すと日本社会と同じように参加者の年齢も高齢化し平均
 年齢60歳?となり技量も円熟の域に達しました? 長
 い間には亡くなられた方、業界を去られた方、定年退職
 された方、等々同好会参加人数も減少しております。新
 しい同好の士の参加を待っております。

例年12月にはその年の納めの碁会を開いていましたが
 昨年末は会場の都合と幹事の怠慢で開けず、新年になっ
 て1月20日に打ち初めの会を持ちました。発足当初より

指導をして頂いている石毛八段、体調をくずしてここ一
 昨年、昨年の箱根一泊碁会や納会を欠席された当同好会
 最高段者テクニコンの楯氏も健康を取り戻され久しぶり
 に参加、小生等へボを相手に久しぶりの石の感触を楽し
 まれたようです。8時まで烏鷺を闘わせた後、会場の高
 田馬場囲碁クラブのビルの2階の中華料理店で懇親会を
 開き碁の話から景気の悪さ等々話題が尽きぬままに10時
 散会しました。

尚、箱根一泊の碁会は毎年7月の第2土曜日(今年は
 7月9日)と決めて居ります。5月頃改めてご案内しま
 すがご参加をお待ちしております。(洋販 武田)

フォーティー・ラブ(テニス同好会)近況報告

以前書いた合宿報告の原稿を懐かしく見返していたら、
 テニス・クレイジーだった自分自身の中で「ステイ・ヤ
 ング」志向が強くなった事の残念さ、即ち年と伴に力が
 急速に落ちてきて、只健康維持の為にテニスになりつつ
 ある寂しさが現れた数行が目飛び込んできた。以前か
 らの仲間達の大半も今頃は、多かれ少なかれ同じ気持ち

を味わっているのではあるまいか。然し、あれは自然の
 母が書いた筋書きなので気持ち良く受入れざるを得ない
 訳だから、その替わり早く若いメンバーが増え、我々が
 育ててきたフォーティー・ラブをますます発展させて欲
 しいと言う願いで一杯である。

さて、昨年は多少報告の回数が少なかったもので、1993

年1年を通しての活動状況のお復習をしたいと思う。

毎回津久井湖畔「プチビラ」に於いて開催されたそうである。

1) 春季合宿 4月10日～11日(土・日)

この合宿の報告は会報 Vol. 27, No. 8 に掲載されているので参照されたい。

2) 夏期合宿 8月21日～22日(土・日)

参加者約25名、晴天、英国から赴任されている某幹事会社の社長ご夫妻とご次男が本場のテニスで、ベテラン小父さん組を圧倒したとか。

3) 秋期合宿 10月30日～31日(土・日)

フォーティー・ラブ始まって以来初めての土砂降りの雨に見舞われ、前日(金曜夜)から泊り込みの常連も、当日は全く手も足も出ず、運転担当者も含めて、朝から酒杯をボール替わりに使用したとか? それにしても、「フォーティー・ラブの合宿は絶対に雨に祟られない」と言う信仰も遂に消え去ったのか? 次回を楽しみに観察しよう。

秋期合宿が雨で中止になった見返りとして、個人ベースで幹事他15名程が12月の第1土曜日に集まってプレイ

を楽しんだ、との報告もあった。仲良きことは、楽しきかな!である。

1994年の予定はと言うと、春季合宿は4月上旬に、夏期合宿は8月下旬、秋期合宿は10月下旬か11月上旬に行いたいとの話。新会員、と言っても参加すれば自然に会員となってしまうのだが、日帰り参加、ご家族参加も大歓迎。お子様やテニス初めての方には、特に女子の参加歓迎で、自称ベテランが寄ってたかって球出し、コーチをしてくれる。因みにプチビラでの合宿参加費は、1泊2食付とコート代込みで、通常は¥15,000. __で、日帰り参加は、昼食とコート代込みで¥4,000. __程。1日たっぷり楽しめる。

こうしてお復習をしていると、たっぷり汗をかく爽やかな心持ちを思い出して、個人的な事で恐縮だが、少し暖かくなったら柔軟や軽いジョギングからはじめて、また現役に復帰したい意欲が蘇ってくるようだ。「ステイ・ヤング」に徹して頑張りたい。若い皆さん、どんだん参加して、フォーティー・ラブに新しい息吹を吹き込んでくださるよう期待しています。

(RA記)

JBIA DIRECTORY 1994

— 4 月中出来予定 —

(洋書輸入協会ダイレクトリー1994年版)

25.7×18.2cm 350頁 会員価格 2,500円(送料共)

一般価格 4,500円(")

海外価格 8,000円(航空便送料共)

洋書輸入協会史 (86)

洋書輸入協会顧問 相良 廣明

99 昭和37(1962)年度(s37.4月～s38.3月)の規約改正、理事改選、新入会員、退会者など(前号よりの続き)

99.6 社名変更と住所変更の追加

(4) 原書房は、創業40年を迎えたのを機に、株式会社原書房として新たに発足した旨、昭和37年10月10日付で挨拶状が出されている。(10月31日付JBIA No. 160 参照)

(5) 株式会社 如文出版は、住所を神田神保町より千代田区西神田1-3 幅ビルへ、昭和37年11月24日より移転した。

(6) 内外交易株式会社は、昭和37年10月1日より、営業所を港区芝琴平町より、港区赤坂中ノ町3 水戸幸ビルに開設。本社は暫く旧住所に残ったが、やがてこれも水戸幸ビルの方へ移転した。

99.8 会員数

昭和37年度は、新入会員3社、退会者なしのため、年度末(昭和38年3月末現在)の会員数は、前年度末の58社から61社に増加している。

99.9 懇親旅行

(1) 理事会懇親旅行

5月18日～19日の一泊で、理事会は箱根姥子温泉に懇親旅行を行った。その折の写真が残っているので次に掲載する。



(2) 協会親睦旅行

9月23日～24日の一泊で、外房白浜に旅行。

99.10 協会最初の新年会

従来は毎年年末に忘年会を開催していたが、年末は多忙なので新年会に替えようということになり、昭和38('63)年1月11日、銀座松阪屋裏スエヒロにおいて、協会最初の新年会が開催された。これが慣例となって今日まで継続している。

100 昭和37(1962)年度のその他の出来事

100.1 東ドイツ、中国本土、北ベトナムからの輸入に関する事前許可について

10月8日付通商産業省告示第522号により、かねて洋書輸入協会からその廃止方を懇請してきた頭記の事前許可が、「書籍および定期刊行物」に限り不要となった。(昭和37年10月8日付、JBIA No. 159 所載)

100.2 アメリカ港湾スト終了

昭和38年1月25日の理事会で、アメリカ港湾ストが終了した旨報告された。

101 英国の郵便料金大幅値上げとその影響

101.1 英国郵便料金大幅値上げの情報入

昭和38(1963)年5月8日の協会懇談会において、英国の郵便料が7月1日より40%の大幅値上げとなる旨が報告された。Booksellers 3月10日号によれば、英国郵政省は現在までに、年2万ポンドほどの赤字を出していたので、堪りかねて郵便料の大幅値上げに踏み切った模様。

これ程の大幅値上げとなれば、郵便や郵便小包を利用することの多い洋書の輸入業界は多大の影響を蒙ることとなるため、5月10日の理事会において、丸善、紀伊国屋書店、海外出版貿易、日本出版貿易の4社にて小委員会を作り、書籍・雑誌毎にデータを収集することとした。

101.2 英国雑誌の送料値上げについて

6月5日の理事会で、丸善小林氏から英国の雑誌の送

料の値上げ状況について、これまでの調査結果が発表された。即ち、英国の160の雑誌出版社に値上げ状況を問い合わせたところ、6月3日現在で90社から回答があった。その中で7月1日より値上げすると決めている所は19社26点であるが、7月1日から値上げしなくても、1964年度から値上げをしたいという希望は殆どすべてが持っている。なお7月1日から値上げするところでも、既に受け付けている1963年度の予約分については、7月以降の不足分を追徴することはない。7月1日以降の新規受注分のみについて値上げをすると解釈して良からう。

一方で、1964年度分から値上げを計画しているところでも、Postage 値上り分だけでなく、この際コスト高となっている分もカバーしなければならぬだろうといっている所が多いので、来年分の値上りは相当幅が広くなりそうである。

判明した値上り分の平均は次の通り。

Weekly, Daily 19点 16.1% up

Monthly, Quarterly 7点 15.9% up

また値上りの個々の状況は、18%から36%の間に散らばって、法則性に乏しい。

Air Mail の郵便料は今度の値上げの対象外である。ところが Air Mail の送料も、送料の値上げをしている社は必ずいくらか上げている。これらを見ると、どうも郵便料値上げに便乗して誌代プラス送料の値上げを行っていると取られても止むを得ないと思われる。

101.3 英国郵便料値上げのまとめ

その後理事会及び小委員会は、6月25日、7月9日と会合を持って英国郵便料金値上げの実態を本と雑誌の双方について検討した結果、昭和38(1963)年7月19日付のJBIA No. 168において、この問題のまとめを会員に知らせている。それを要約すれば次の通り。

英国郵便料金の改訂に関して

既にご承知の事と存じますが、去る7月1日から英国の郵便料金が下記の通り値上げされました。

(1) Periodicals

	Former Rate	New Rate	Increase
Weekly(per copy)	10 $\frac{1}{2}$ d	1s 3 $\frac{1}{2}$ d	5d
Annual	45s 6d	67s 2d	21s 8d

(2) Books

Printed Papers(Post, Bulk Post)

	8 $\frac{1}{2}$ d	1s $\frac{1}{2}$ d	4d
--	-------------------	--------------------	----

(注) dはPennyの略号, 12 Pence (Pennyの複数形)=1 shilling, 20 shilling=1 pound

従来英国では外国に対しても内地料金が適用されておりましたので、米国などと比較するとかなり割安でありましたから、このため英国政府としては相当な赤字を出しており、これをカバーするために今回の値上げとなったとの話であります。

郵便料金だけで見ますと、1ポンドの目方のもの当り40~47%の大幅な値上げとなりますが、出版社価格との関係で実際にどの程度われわれの営業に影響を及ぼすかは的確につかめませんので、理事会としては急拠小委員会を設けて調査した次第です。

同小委員会としては最近の英国のコスト・インフレによる書籍、雑誌の値上げの傾向と共に、今回の措置による発行所の値上げムードと、一面郵便料金値上りの一部を出版社が負担する値上り調整の機運とを見合わせながら資料を検討致しました。その結果は次の通りです。

(一)雑誌について

英国の主要雑誌1,300点についてここ1年間(1962,6月~1963,5月)の予約価の上昇状況を見ますと、そのうち344点(26.4%)が値上げをしております、その幅は各雑誌各様でありますため、特に基準となる率は見定めかねますが、平均では前年より22.8%の値上りとなり、総点数1,300で平均致しますと約6%の値上りとなっております。

これを米国雑誌と比較致しますと、米国主要雑誌2,000余点中、385点(19.1%)が平均で18.6%の値上りとなり、全点数で平均すると3.6%となっております。

7月以降の英国郵便料金の改訂により、同月以降代価を改訂すると発表している雑誌は案外に少なく、大部分は差し当たっては変更しないが、刊行に関連する諸経費の高騰を勘案して、次年度から改訂するとの意志表示をしている事に注目の必要があります。即ち、郵便料金の値上りという既定事実がありますから、前年との対比を超えた高度の改訂が行われるものと推測される次第であります。

参考までに米英両国の予約雑誌の平均単価を比較してみますと、現在のところ僅かに1割5~6分程度英国が低くなっておりますが、今後の改訂により実質的に両者の差は殆どなくなるのではないかと考えられます。

(この項続く)

◆「菊坂の女子美」：女子美術大学の創立

『ぶらりひょうたん』で占領下日本の社会を軽妙洒落な文章で描き出した高田保は、大正12年から昭和2年まで2度にわたって「菊富士ホテル」の止宿人となったが、近藤富枝文史『本郷菊富士ホテル』におもしろいエピソードが紹介されている。あるとき時計を買いにでかけたのに望遠鏡を買って帰って来たが、それは彼の部屋から帝国大学の時計台を望遠鏡で見れば時間がわかるという理屈であった。そして、近くの菊の湯やホテルのちょうど真向かいにあった「女子美術学校」を覗いては楽しんでいたところが、学生の方もそれに気付いて鏡を反射させてお返ししたという。やがて、ほかの止宿人も彼の部屋に集まって来て、その望遠鏡を回しあって女子美を覗いたりするようになり、宇野浩二などは東京のあちこちを見回しては木の多いことに今さらのように感心していたということである。ともあれ、女子美が出たついでに、この学校の創立のいきさつと日本の近代美術教育の発祥(次回)について少し触れてみることにしたい。

「女子美術学校」(現在の「女子美術大学」)は明治33年に創立された。その前年の明治32年に高等女学校令が発令されるや、女子高等教育の学府が一斉に開花する。発令と同じ年早くも実践女子学校(実践女子大学)が下田歌子によって開校され、翌年の明治33年には女子美のほかに津田梅子の女子英学塾(津田塾大学)、吉岡弥生による東京女医学校(東京女子医科大学)、日本女子大学校が成瀬仁蔵によって開校される。

さて、前川和彦氏の『大学の原点』によって女子美の創立の経緯をたどって見ることにする。女子美は明治33年に文部省の認可を受け明治34年に開校した。申請者は藤田文蔵、横井玉子など4名であったが、実質的に創立を推進したのは横井玉子であった。玉子は熊本細川家の支藩で高瀬細川家の家老の娘として生まれ、18歳で横井家に嫁いだ。夫は幕末の優れた思想家横井小楠の養嗣子として幼いころから開明的な薫育を受け、小楠の嘱望した人物であったが、惜しくも結婚して3年で死別する。若くして未亡人となった玉子はミッション系の女子学院(アメリカ長老会のカラゾルスが築地に創立したA六番

女学校を源流とする学校で、この時小楠の6女楯子が校長)に教師の職を得て15年務めたが、この頃高まって来た婦人の自主独立の時流に乗って、かねてから暖めていた学校設立を実行に移す。横井一族は同志社の総長や熊本洋学校の創立者など教育者や学者を多く輩出し、娘の一人は徳富家に嫁ぎ蘇峰や蘆花を生んだ。きっとそういう環境が彼女を教育の世界に駆り立てたものであろう。彼女がなぜ美術学校を選んだか不明であるが、当時女子の美術教育機関がなかったこと(画塾はあったが)、彼女自身未亡人になってから浅井忠(工部美術学校でフォンタネージに師事した明治の指導的な洋画家の一人)に絵を学んだことがその誘因となったものと思われる。一方、創立者の一人となった藤田文蔵は工部美術学校で彫刻を専攻してお雇い教師のラグーザに師事した。卒業の後、文部省の図画取調掛から東京美術学校の彫塑科の教授、さらに後年その校長を歴任した人物で、女子美術学校創立にともなって校長に就任した。

このようにして、新生日本における画期的な女子美術教育がスタートしたのであるが、最初から苦難の道を歩む学校経営で、この時代には女子の高等教育が一般的でなかったことや西洋美術にたいする偏見などで入学生も少なく、加えて発起人の一人が資金を持ち逃げしたことで経営難に陥り、閉校の危機に遭遇する。このとき、玉子は女子美中興の祖となる佐藤志津と巡り合った。佐藤志津は佐倉から発祥した順天堂の2代目当主で東京順天堂を設立した佐藤尚中の息女として生まれ、しかも当時順天堂病院長であった佐藤進男爵の夫人という、資産もあり地位もある恵まれた環境の女性で、玉子と知り合い彼女の美術教育に対する情熱に動かされ、女子美の経営を引き継ぐ意志を固めた。それ以後生徒数も次第に増加し経営も安定して、今日まで長い歴史を綴って来た女子美術大の基礎がここに築かれることになった。

こうして、昭和10年に杉並区和田に移転するまで、「菊坂の女子美」と呼ばれてここ菊坂に25年の年月が移る。画箱やカンバスを抱えて活発に行き来する女学生達を見るにつけ、菊坂の住人はきっと異国の人を目にするような思いだったのではないかと、いう気がする。

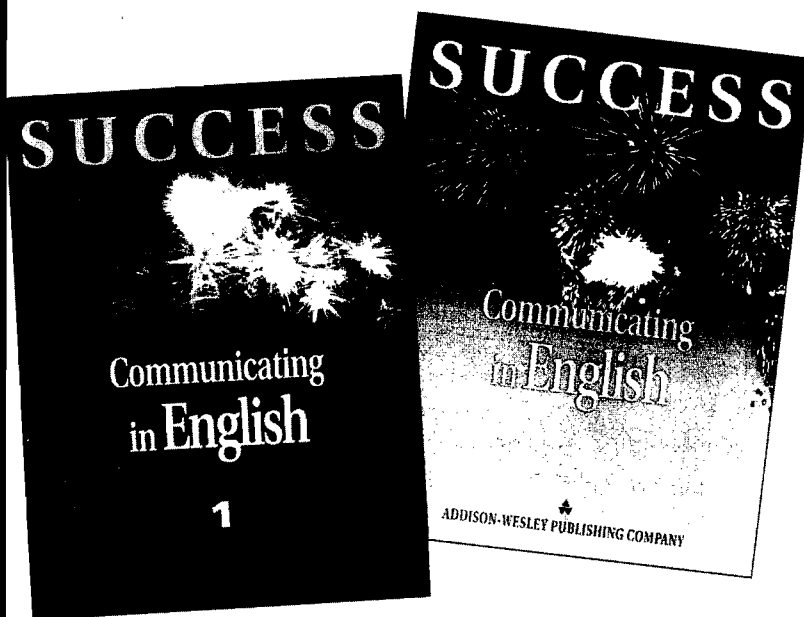
SUCCESS

There's Nothing Quite Like It ...

**AND ONLY
ADDISON-WESLEY
HAS IT!**

SUCCESS is the new, four level EFL series that makes communicating in English fast and easy.

- Textbooks
- Bonus Practice Books
- Audio Cassettes
- Teacher Resource Books
- Posters
- Videos



Addison-Wesley
Publishers Japan, Ltd.

1-2-2 Sarugakucho
Chiyoda-ku, Tokyo 101
TEL 03(3291)4581
FAX 03(3291)4592

1994年3月 通巻第322号 洋書輸入協会

編集者 神田 俊二

〒103 東京都中央区日本橋1-21-4 千代田会館5階20号室

☎(03) 3271-6901 FAX. (03) 3271-6920

印刷所—藤本綜合印刷株式会社